



釧路市

市勢要覧2025

KUSHIRO



釧路市長 鶴間 秀典

釧路市は、北海道の東部、太平洋岸に位置し、「阿寒摩周」「釧路湿原」の二つの国立公園や特別天然記念物「タンチョウ」や「阿寒湖のマリモ」など世界的にも貴重で魅力あふれる自然に恵まれたまちです。また、夏の平均最高気温が約20度と涼しく、避暑を目的とした長期滞在やスポーツ合宿、テレワークにも適しています。

これまで釧路市は、水揚げ量2年連続日本一を誇る水産業、豊富な森林資源を有する林業、背後圏の酪農、畜産などの農業といった第1次産業や、食品・製薬・製紙などの第2次産業を中心に生産都市として発展してきました。

豊かな大自然に抱かれ、多様な文化を育み、ひがし北海道の拠点として発展してきた釧路の魅力や価値を次へ繋いでいくため、「つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路」を掲げ、未来の世代のためのまちづくりを進めて参ります。

目次

- P 3～・・・釧路市の概要
- P 6～・・・経済・産業
- P 8～・・・観光・港湾・空港
- P 9～・・・環境・衛生・医療
- P 10～・・・教育・福祉
- P 11～・・・歴史とあゆみ
- P 14～・・・交通アクセス

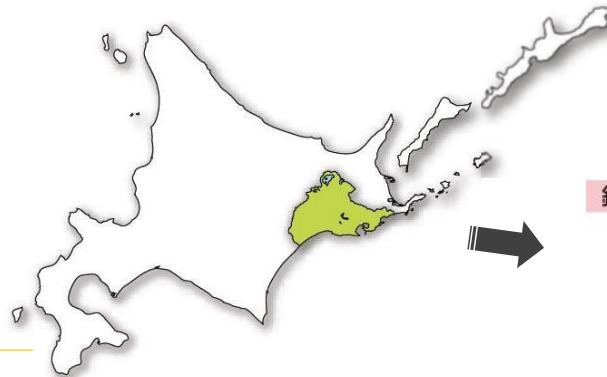
釧路市の概要

ひがし北海道のゲートウェイ釧路市

位置 東経 144°22'24"
北緯 42°58'10"

面積 1,363.26km²

市役所等
○釧路市役所
釧路市黒金町7丁目5番地
〒085-8505 Tel0154-23-5151(代表)

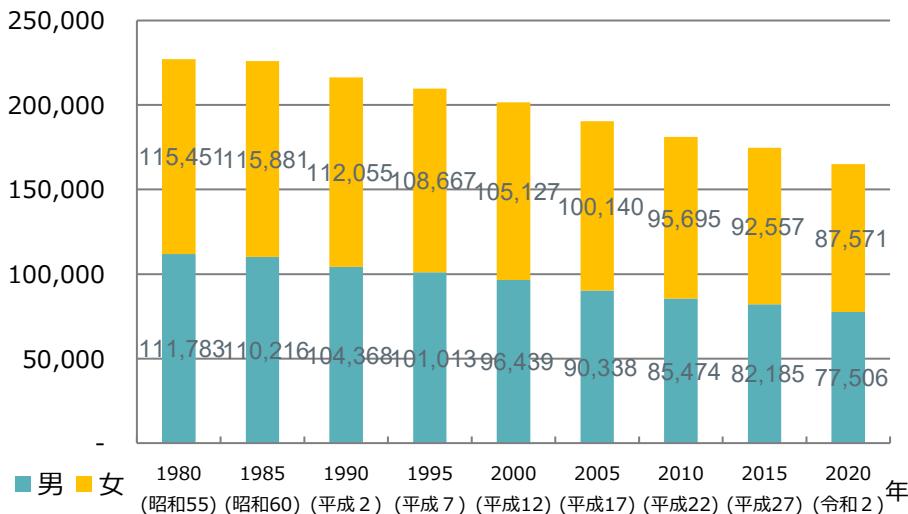


○阿寒町行政センター
釧路市阿寒町中央1丁目4番1号
〒085-0292 Tel0154-66-2121(代表)

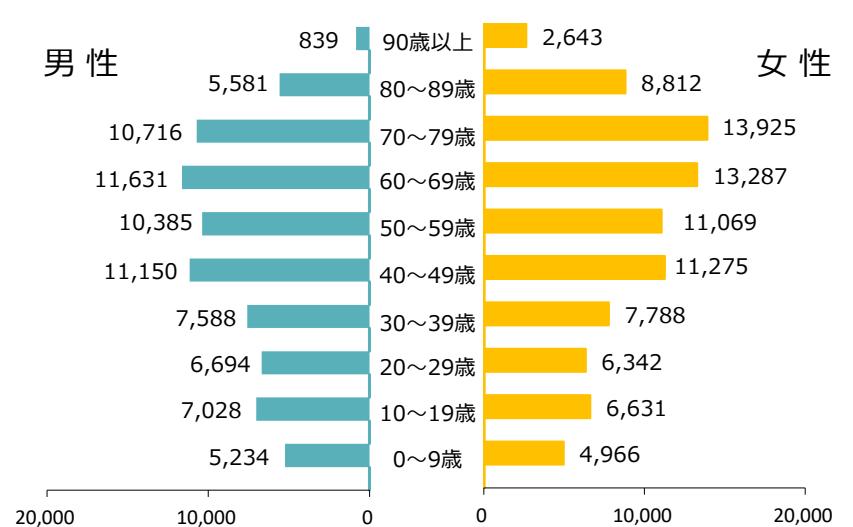
○音別町行政センター
釧路市音別町中園1丁目134番地
〒088-0192 Tel01547-6-2231(代表)

人口 152,875人 <2025年(令和7年)3月末 住民基本台帳>

● **人口の推移** <資料：国勢調査結果> (単位:人)



● **年齢別割合** <資料：令和2年国勢調査結果> (単位:人)

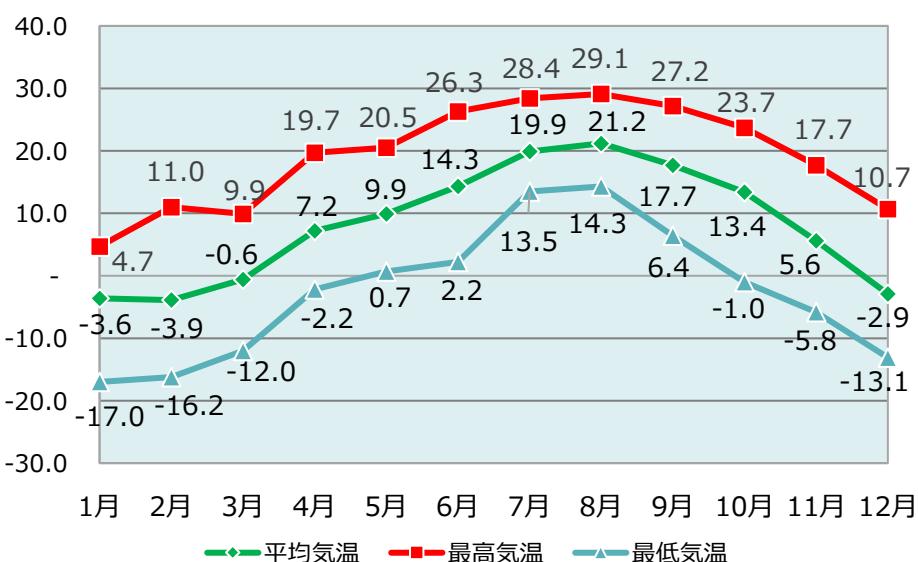


気象

梅雨がなく、夏は涼しく、秋冬は日照率が高く、降雪が少ないのが特徴です。

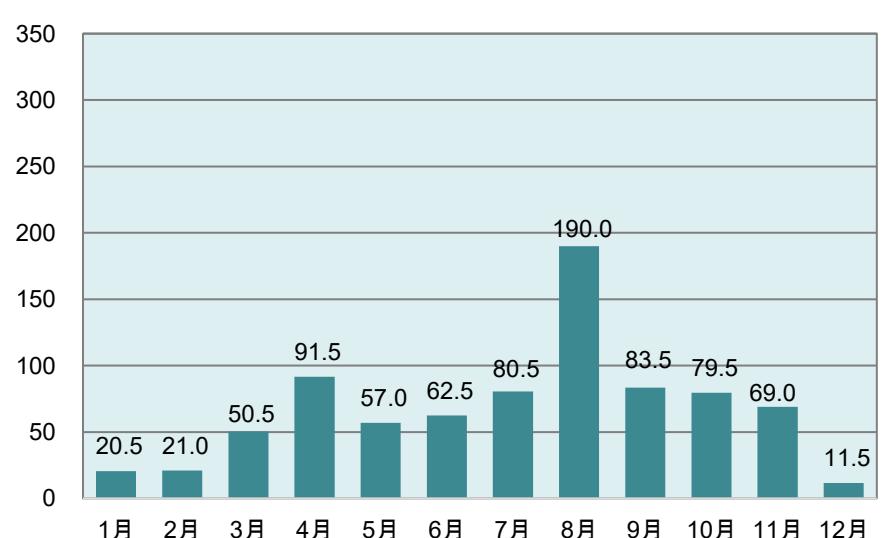
● **月別平均気温・最高・最低気温**

<2024年(令和6年)・資料：気象統計情報> (単位:℃)



● **月別降水量** <2024年(令和6年)・資料：気象統計情報>

(単位:mm)





釧路フィッシャーマンズワーフM.O.O.と
釧路市のシンボル、ウォーターフロント

釧路市まちづくり基本条例

2015年(平成27年)10月1日施行

前文

釧路市は、原始の様相を今に伝える釧路湿原、母なる釧路川、特別天然記念物のマリモが生育する阿寒湖をはじめとする大小の湖沼、広大な森林などの厳しくも豊かな自然の恵みのもと、その自然と共生してきたアイヌの人たちや開拓のために移り住んだ人々などの長年の労苦と努力によって、東北道の中核都市へと発展を遂げてきました。

私たち釧路市民は、「広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です」とうたい出され、「生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまち」を築くことを目指した釧路市民憲章を胸に、あすの釧路市がより輝くよう、次世代に引き継いでいく責任があります。

私たちは、皆で築き上げてきた歴史を誇りとして、まちづくりを自ら担う気概を持ち、まちづくりの主体としての役割を果たしていかなければなりません。ともに考え、互いに認め合い、力を合わせてまちづくりに取り組み続けることで、人と人の絆きずなや支え合う心をより確かなものにし、喜びとやりがいを感じながら、安全で安心な心豊かに暮らせるまち釧路を築いていくために、まちづくりの規範として、この条例を制定します。

釧路市の歌

2006年(平成18年)10月11日制定

釧路市の歌

宮川正男 作詞
廣瀬量平 作曲

一、霧の都に 住むわれら
求める道を 一筋に
手を携えて 手を携えて
文化を築く 力湧き
喜びあふれ 花咲き香る
釧路の風は 日々新しく

二、水辺のまちに 住むわれら
暮らしを創る 灯をかかげ
生産基地の 生産基地の 知恵と技
光の大地 実り満ち
潮路はるかに 幸を求めて
釧路の海は 日々新しく

三、星降る里に 住むわれら
歴史に学び 誇りある
祖先の意志を 祖先の意志を 受け継いで
明日の栄えと 幸せを
きざむ礎 輝き増して
釧路の人は 日々新しく

市の花

2006年(平成18年)10月11日制定



◆キンレンカ
ノウゼンハレン科
キンレンカ属



◆スズラン
ユリ科
スズラン属



◆エゾリンドウ
リンドウ科
リンドウ属

市の木

2006年(平成18年)10月11日制定



◆ハシドイ
モクセイ科
ハシドイ属



◆エゾヤマザクラ
バラ科
サクラ属



◆ナナカマド
バラ科
ナナカマド属

釧路市民憲章

2006年(平成18年)10月11日制定

前文

わたしたちは、広野に丹頂が舞い、夕焼けが太平洋を染める釧路の市民です。わたしたちは、先人の開拓精神をうけつぎ、生産都市を誇りとして、健康で明るく、豊かで文化の香り高いまちを築くために、この憲章を定めます。きょうを充実させ、あすを発展させるために。

本文

- 一、元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう
- 一、きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう
- 一、緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう
- 一、人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう
- 一、文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう
- 一、郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう



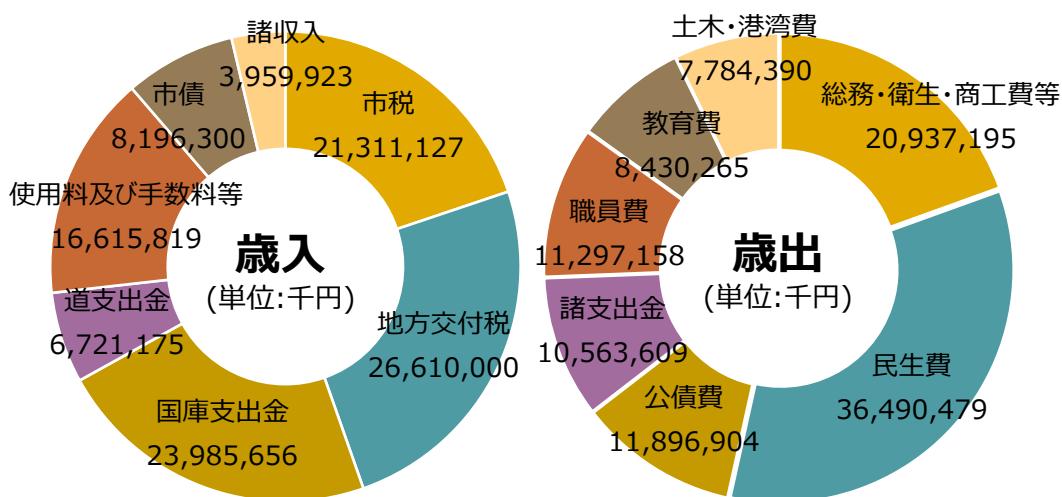
くしろの大空を舞うタンチョウ

財政

2025年度(令和7年度)当初予算 ~全会計総額 1,994億3,931万3千円~

● 一般会計

~総額 1,074億円~



● 特別会計

~総額 387億0,029万8千円~

(単位:千円)

国民健康保険	15,516,988
阿寒診療所事業	563,094
音別診療所事業	401,580
後期高齢者医療	3,073,663
介護保険	
保険事業勘定	18,285,147
介護サービス事業勘定	103,488
魚揚場事業	148,946
駐車場事業	155,538
動物園事業	451,854

● 企業会計

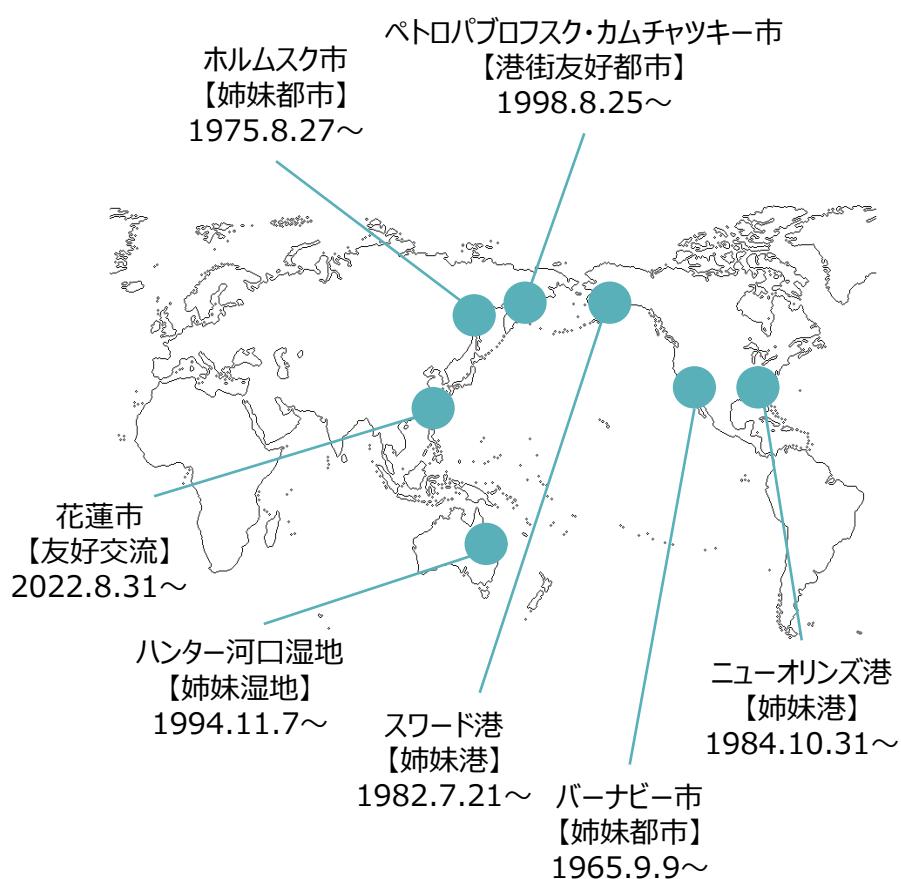
~総額 533億3,901万5千円~

(単位:千円)

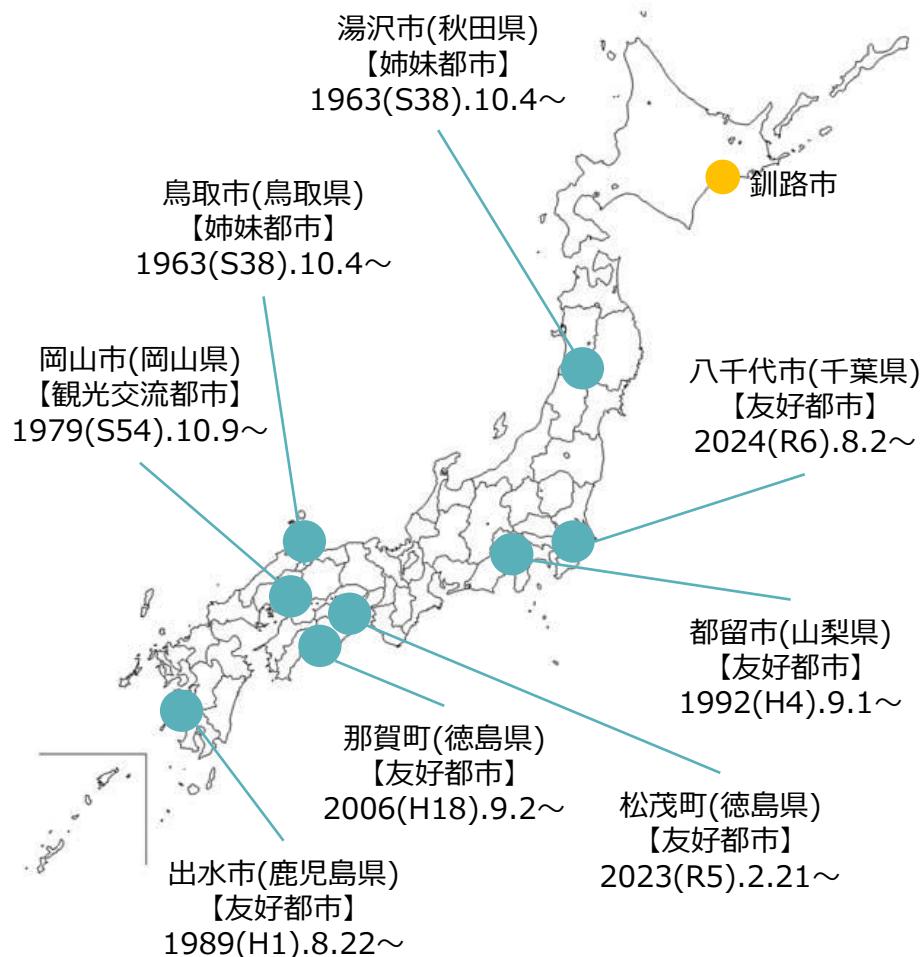
病院事業	30,321,018
水道事業	9,593,876
工業用水道事業	104,732
下水道事業	11,981,042
公設地方卸売市場事業	257,662
港湾整備事業	1,080,685

姉妹都市等

● 海外



● 国内



経済・産業

日本で唯一“生きたヤマ《炭鉱》”がある釧路市

経済・産業

農業、林業、水産業の第1次産業、石炭鉱業、紙・パルプ製造業などの第2次産業、様々なサービスを提供する第3次産業が結びついて発展してきた生産都市です。

● 市内総生産額の推移 <資料：市企画課> (単位:千円,%)

項目	年度	金額			構成比			対前年度増減率	
		2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2019 (令和元)	2020 (令和2)	2021 (令和3)	2020 (令和2)	2021 (令和3)
1.産業		621,800,615	601,966,109	567,267,425	99.1	99.2	98.7	△ 3.2	△ 5.8
(1) 農業		4,559,338	4,179,026	3,878,801	0.7	0.7	0.7	△ 8.3	△ 7.2
(2) 林業		287,722	268,087	264,680	0.0	0.0	0.0	△ 6.8	△ 1.3
(3) 水産業		5,717,957	5,634,285	6,148,646	0.9	0.9	1.1	△ 1.5	9.1
(4) 鉱業		3,056,275	3,876,356	4,340,587	0.5	0.6	0.8	26.8	12.0
(5) 製造業		77,335,594	85,591,209	50,222,366	12.3	14.1	8.7	10.7	△ 41.3
(6) 電気・ガス・水道・廃棄物処理業		25,633,838	26,030,177	25,580,053	4.1	4.3	4.5	1.5	△ 1.7
(7) 建設業		39,040,634	38,650,035	34,848,172	6.2	6.4	6.1	△ 1.0	△ 9.8
(8) 卸売・小売業		84,501,617	80,125,167	84,218,725	13.5	13.2	14.7	△ 5.2	5.1
(9) 運輸・郵便業		59,364,158	50,825,902	51,385,341	9.5	8.4	8.9	△ 14.4	1.1
(10) 宿泊・飲食サービス業		19,839,276	11,428,834	10,772,631	3.2	1.9	1.9	△ 42.4	△ 5.7
(11) 情報通信業		12,739,124	13,142,821	12,662,485	2.0	2.2	2.2	3.2	△ 3.7
(12) 金融・保険業		21,332,483	20,214,590	20,618,173	3.4	3.3	3.6	△ 5.2	2.0
(13) 不動産業		58,675,569	58,798,114	59,215,525	9.3	9.7	10.3	0.2	0.7
(14) 専門・科学技術、業務支援サービス業		49,867,697	49,725,811	50,444,794	7.9	8.2	8.8	△ 0.3	1.4
(15) 公務		39,701,580	38,155,600	37,985,302	6.3	6.3	6.6	△ 3.9	△ 0.4
(16) 教育		27,031,473	26,774,797	26,511,364	4.3	4.4	4.6	△ 0.9	△ 1.0
(17) 保健衛生・社会事業		68,014,168	65,919,966	64,950,942	10.8	10.9	11.3	△ 3.1	△ 1.5
(18) その他のサービス		25,102,112	22,625,332	23,218,838	4.0	3.7	4.0	△ 9.9	2.6
2.輸入品に課される税・関税		10,835,560	10,701,222	11,761,259	1.7	1.8	2.0	△ 1.2	9.9
3.総資本形成に係る消費税		△ 4,971,540	△ 5,543,887	△ 4,486,070	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.8	△ 11.5	19.1
合計 (1 + 2 + 3)		627,664,635	607,123,444	574,542,614	100.0	100.0	100.0	△ 3.3	△ 5.4

● 産業別民営事業所数・従業者数の推移 <資料：市企画課> (単位:事業所,人,%)

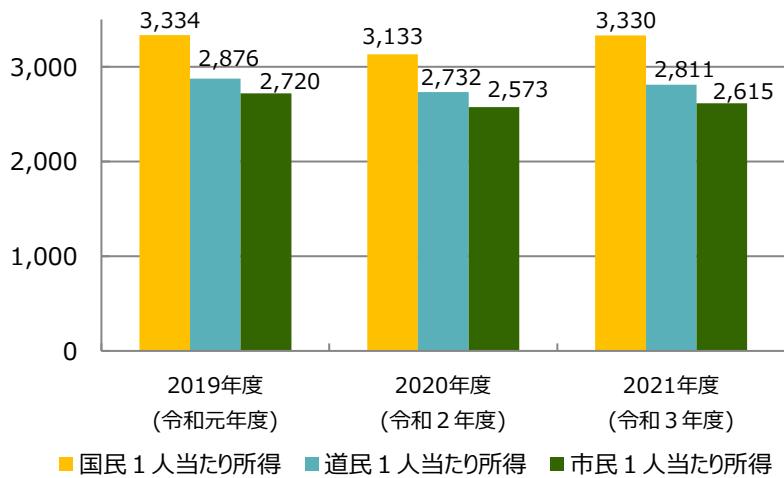
産業分類	2016年(平成28年)6月1日		2021年(令和3年)6月1日		増減数		増減率	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
全産業	8,268	70,112	7,775	66,727	△ 493	△ 3,385	△ 6.0	△ 4.8
農業・林業・漁業	46	572	54	555	8	△ 17	17.4	△ 3.0
鉱業、採石業、砂利採取業	10	438	11	215	1	△ 223	10.0	△ 50.9
建設業	712	5,489	659	5,450	△ 53	△ 39	△ 7.4	△ 0.7
製造業	340	5,938	328	5,342	△ 12	△ 596	△ 3.5	△ 10.0
電気・ガス・熱供給・水道業	13	384	22	405	9	21	69.2	5.5
情報通信業	47	392	51	368	4	△ 24	8.5	△ 6.1
運輸業、郵便業	283	5,773	281	5,996	△ 2	223	△ 0.7	3.9
卸売業、小売業	1,970	15,110	1,773	13,821	△ 197	△ 1,289	△ 10.0	△ 8.5
金融業、保険業	188	2,159	188	2,132	0	△ 27	0.0	△ 1.3
不動産業、物品賃貸業	785	1,875	688	1,911	△ 97	36	△ 12.4	1.9
宿泊業、飲食サービス業	1,353	7,786	1,221	6,439	△ 132	△ 1,347	△ 9.8	△ 17.3
教育、学習支援業	204	1,548	211	1,762	7	214	3.4	13.8
医療、福祉	632	11,289	647	10,961	15	△ 328	2.4	△ 2.9
複合サービス事業	46	543	45	452	△ 1	△ 91	△ 2.2	△ 16.8
サービス業等	1,639	10,816	1,596	10,918	△ 43	102	△ 2.6	0.9



日本有数の漁場と漁獲量、釧路の魚は脂ノ抜群

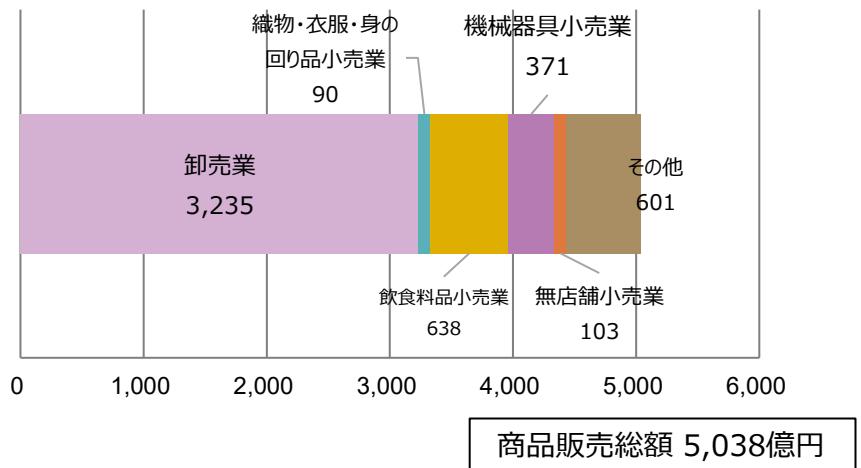
● 国民・道民・市民1人当たりの所得比較

＜資料：内閣府「県民経済計算」、市企画課＞(単位:千円)



● 商品販売額・・・2021年(令和3年)6月1日現在

＜資料：市企画課＞(単位:億円)



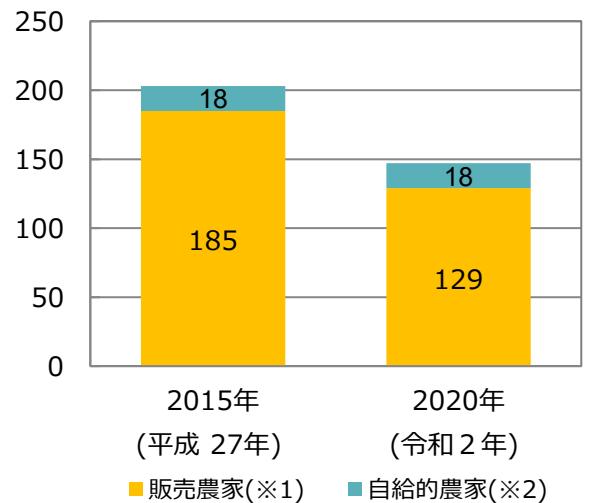
● 魚種別漁獲高

＜資料：市水産課＞(単位:t,千円,%)

魚種別	数量				金額			
	2022年(令和4年)		2023年(令和5年)		2022年(令和4年)		2023年(令和5年)	
	数量	構成比	数量	構成比	金額	構成比	金額	構成比
合計	172,554	100.0	189,416	100.0	10,537,107	100.0	14,323,148	100.0
すけとうだら	28,537	16.5	16,226	8.6	1,712,118	16.2	1,051,033	7.3
まだら	5,669	3.3	5,454	2.9	1,319,678	12.5	1,355,777	9.5
さんま	25	0.0	66	0.0	16,589	0.2	27,063	0.2
いか	473	0.3	668	0.4	386,662	3.7	671,669	4.7
かれい類	481	0.3	871	0.5	138,507	1.3	159,809	1.1
さけ・ます類	77	0.0	36	0.0	44,917	0.4	29,872	0.2
赤物	75	0.0	77	0.0	137,675	1.3	145,134	1.0
ほっけ	23	0.0	14	0.0	6,190	0.1	3,699	0.0
さば	221	0.1	0	0.0	12,153	0.1	12	0.0
いわし	134,863	78.2	160,479	84.7	6,062,404	57.5	10,105,042	70.6
ししゃも	47	0.0	29	0.0	178,533	1.7	78,156	0.5
その他	2,063	1.2	5,496	2.9	521,681	5.0	695,882	4.9

● 農家数

＜資料：農林業センサス＞(単位:戸)

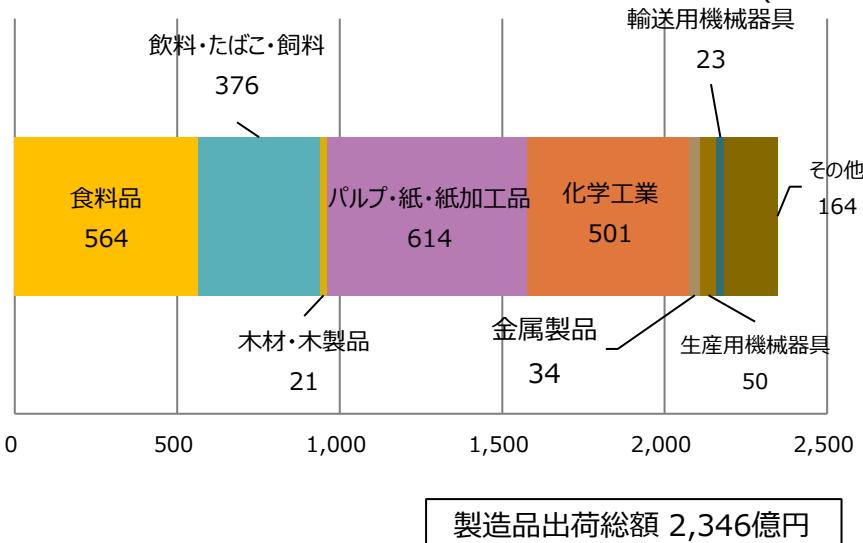


(※1)販売農家とは経営耕地面積が30アール以上、または農産物販売金額が50万円以上の農家をいう。

(※2)自給的農家とは経営耕地面積が30アール未満かつ農産物販売金額が50万円未満の農家をいう。

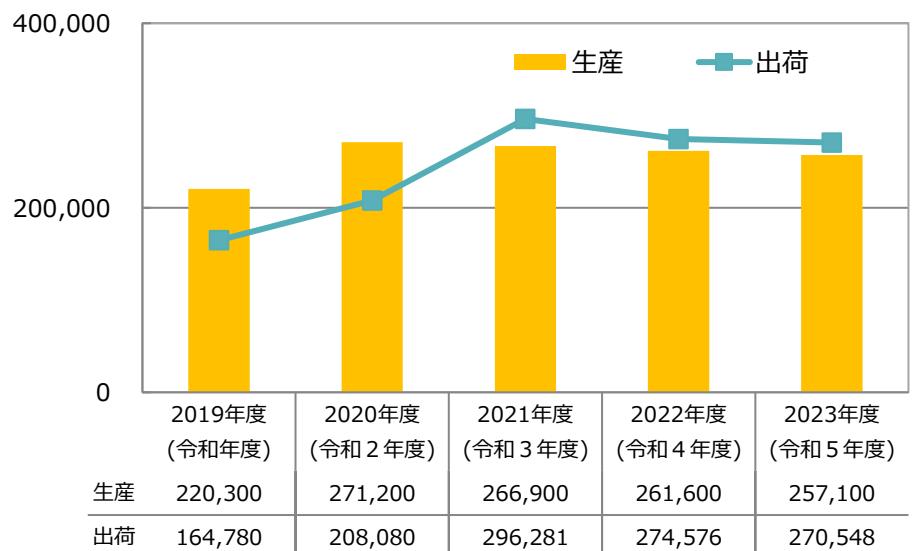
● 製造品出荷額等・・・2020年(令和2年)

＜資料：市企画課＞(単位:億円)



● 出炭状況

＜資料：釧路コールマイン(株)＞(単位:t)



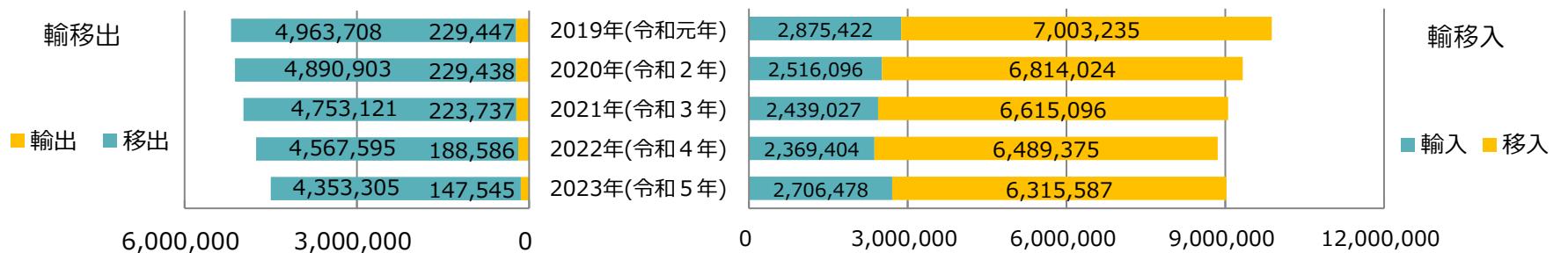
観光・港湾・空港

神秘のマリモを育む阿寒湖

● 観光客入込数 <資料：市観光振興室・阿寒観光振興課・音別町行政センター地域振興課> (単位:人)

年度	総数	釧路地区		阿寒地区		音別地区	
		道内	道外	道内	道外	道内	道外
2019 (令和元)	5,307,274	2,607,386	1,164,002	1,043,047	484,327	7,935	577
2020 (令和2)	2,460,794	1,122,782	500,193	697,766	139,244	802	7
2021 (令和3)	2,755,592	1,346,264	555,784	723,735	127,474	2,138	197
2022 (令和4)	3,809,978	1,836,190	781,100	867,610	289,040	33,992	2,046
2023 (令和5)	4,182,313	2,042,022	880,103	814,040	408,228	35,425	2,495

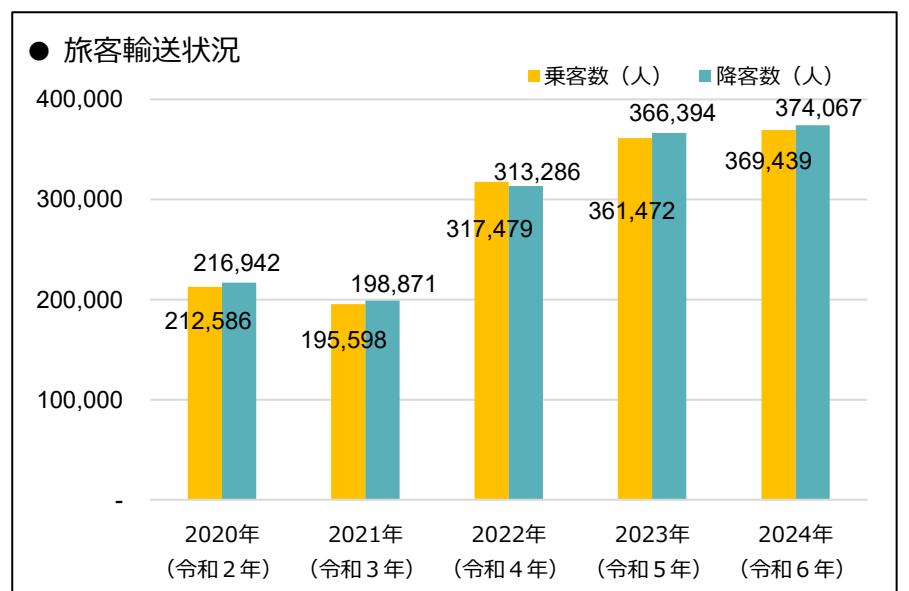
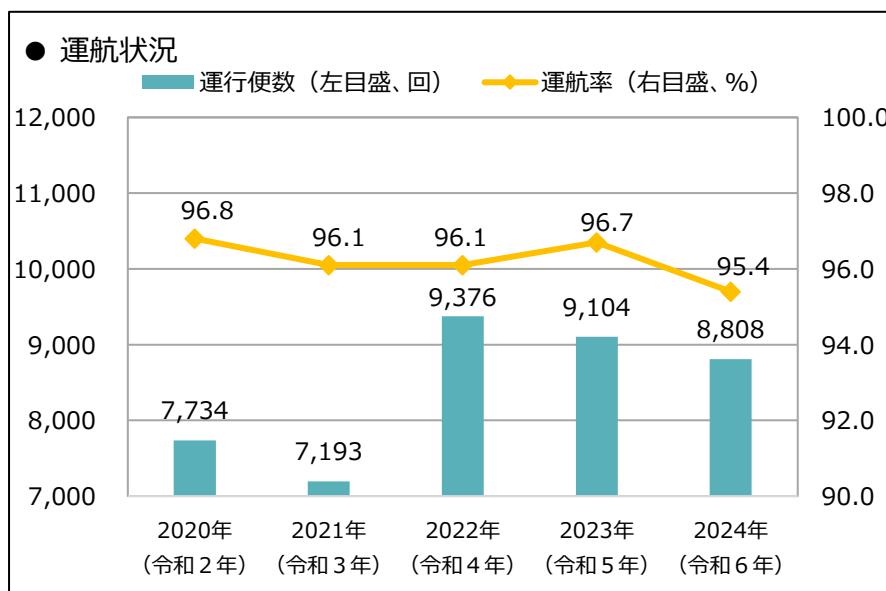
● 港湾貨物取扱量 <資料：市港湾空港課「港湾統計調査」> (単位:t)



● 入港船舶数、総トン数 <資料：市港湾空港課「港湾統計調査」> (単位:隻,t)

年	合計		外航商船				内航商船		漁船		その他	
			総数		うち外国船							
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
2019 (令和元)	8,222	17,185,871	407	4,971,798	407	4,971,798	2,259	11,484,241	5,251	417,975	305	311,857
2020 (令和2)	7,705	16,370,486	412	4,512,338	412	4,512,338	2,293	11,177,387	4,714	398,325	286	282,436
2021 (令和3)	7,430	15,821,802	395	4,166,741	395	4,166,741	2,309	11,027,208	4,498	455,220	228	172,633
2022 (令和4)	7,032	15,831,105	310	3,838,699	310	3,838,699	2,450	11,288,605	3,992	487,345	280	216,456
2023 (令和5)	7,126	16,004,303	356	4,447,578	356	4,447,578	2,424	10,845,868	4,094	492,325	252	218,532

● 空港利用状況 <資料：東京航空局釧路空港事務所>



環境・衛生・医療

森と水の楽園「釧路湿原国立公園」

● 都市公園の整備状況 <資料：市公園緑地課> (単位:箇所,ha)

年度	総合計		総合公園		広域公園		運動公園		都市緑地		街区公園				近隣公園		地区公園		特殊公園	
	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積	箇所	面積
2019 (令和元)	255	400.81	4	156.00	-	-	1	66.55	22	83.13	55	2.46	152	38.84	15	26.00	5	27.20	1	0.63
2020 (令和2)	256	509.01	4	156.00	-	-	1	66.55	23	191.33	55	2.46	152	38.84	15	26.00	5	27.20	1	0.63
2021 (令和3)	258	509.32	4	156.00	-	-	1	66.55	23	191.33	55	2.46	153	39.07	16	26.08	5	27.20	1	0.63
2022 (令和4)	258	510.97	4	156.00	-	-	1	66.55	23	191.33	55	2.46	153	39.07	16	27.73	5	27.20	1	0.63
2023 (令和5)	259	511.54	4	156.00	-	-	1	66.55	23	191.33	55	2.46	154	39.27	16	28.10	5	27.20	1	0.63

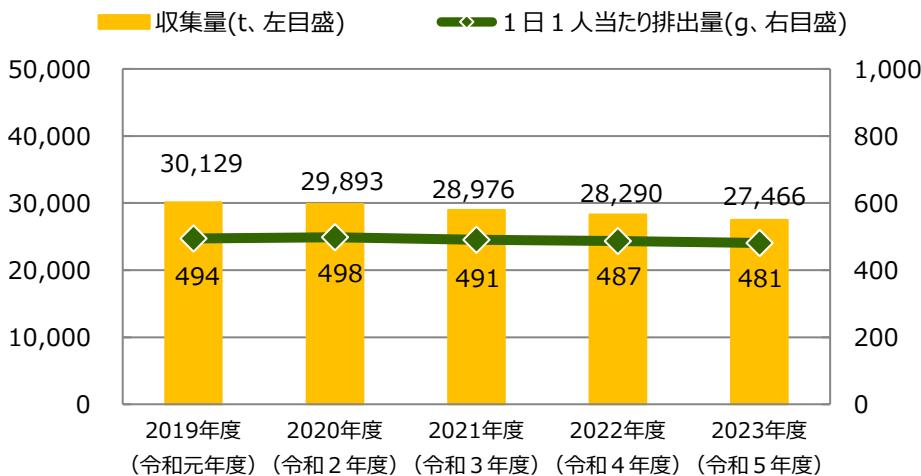
● 水道普及状況 <資料：市上下水道部> (単位:人,%,m)

年度	給水区域内人口	給水人口	普及率	導送配水管延長
2019 (令和元)	181,912	181,818	99.9	1,155,518
2020 (令和2)	179,583	179,493	99.9	1,166,285
2021 (令和3)	177,049	176,935	99.9	1,185,229
2022 (令和4)	174,111	174,030	99.9	1,188,610
2023 (令和5)	170,780	170,700	99.9	1,193,202

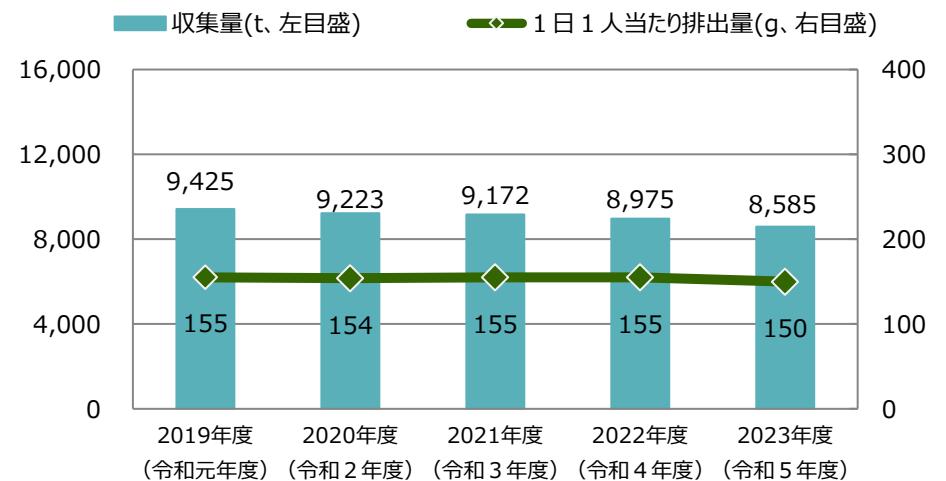
● 下水道普及状況 <資料：市上下水道部> (単位:ha,千人,km,千m³)

年度	整備面積	整備人口	処理面積	処理人口	管渠延長	処理下水量 日平均
2019 (令和元)	4,547	164.1	4,546.80	164.1	1,478.70	65.4
2020 (令和2)	4,554	161.9	4,553.80	161.9	1,479.20	64.8
2021 (令和3)	4,554	159.4	4,553.80	159.4	1,480.10	64.0
2022 (令和4)	4,556	156.8	4,556.10	156.8	1,481.00	62.9
2023 (令和5)	4,556	153.7	4,556.10	153.7	1,481.40	61.9

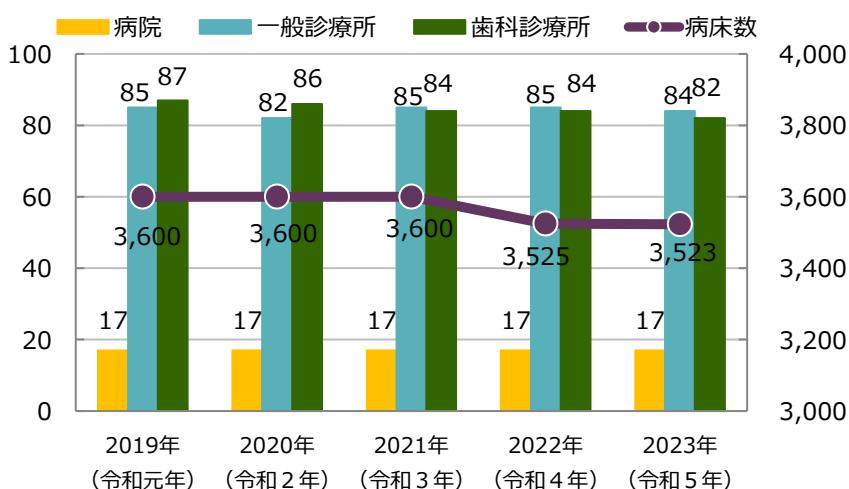
● ごみ収集状況 <資料：市環境事業課>



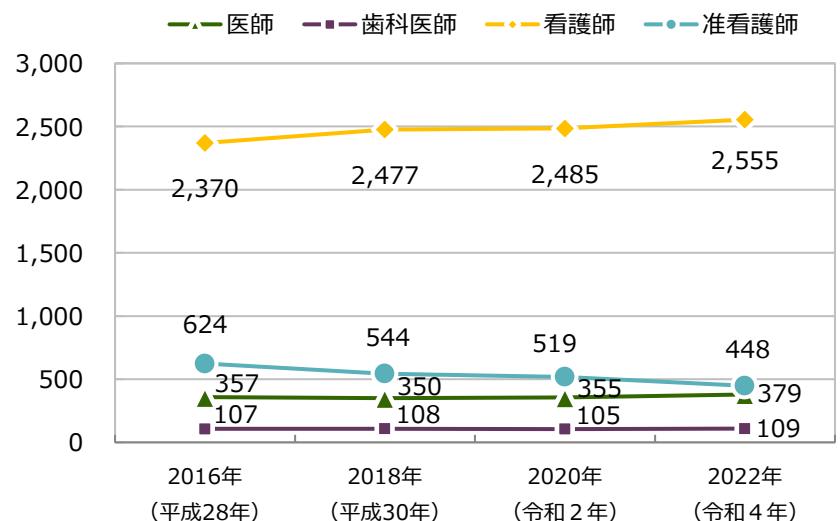
● 資源物収集状況 <資料：市環境事業課>



● 医療施設数の推移 <資料：釧路保健所> (単位:施設,床)



● 医療従事者数の推移 <資料：釧路保健所> (単位:人)





教育・福祉

釧路公立大学を有する釧路市

● 市内各学校の概要・・・2024年(令和6年)5月1日現在<資料：市企画課>(単位:箇所,学級,人)

	学校数	学級数	教員数	児童・生徒数
幼稚園	24	101	238	1,459
幼保連携型認定こども園	10	31	183	787
小学校	25	344	576	5,708
中学校	15	154	316	3,275
義務教育学校	2	32	56	593
高等学校	8	107	346	3,677

	学校名	学科・学級数	教員数	生徒数
大学・短大・高専 その他の学校	釧路工業高等専門学校	3	70	720
	釧路短期大学	2	17	128
	北海道教育大学釧路校	3 (2)	66	793 (23)
	釧路公立大学	2	35	1,293
	釧路鶴野支援学校	23	77	118
	釧路養護学校	47	114	211

() は大学院で内数

● 図書館利用状況<資料：市教育委員会生涯学習課>(単位:日,冊,人)

年度	合計		本館(釧路市中央図書館)			分館(※1)		分室(※2)	
	貸出冊数	貸出人員	開館日数	貸出冊数	貸出人員	貸出冊数	貸出人員	貸出冊数	貸出人員
2019(令和元)	691,663	164,786	300	383,968	92,954	277,420	66,692	30,275	5,140
2020(令和2)	571,712	132,622	268	321,990	75,577	225,720	53,316	24,002	3,729
2021(令和3)	637,912	145,399	295	365,978	82,804	248,336	58,656	23,598	3,939
2022(令和4)	607,562	138,461	295	345,828	79,313	239,724	55,414	22,010	3,734
2023(令和5)	606,074	138,169	295	342,763	78,555	242,035	56,114	21,276	3,500

(※1) 釧路市鳥取、東部、中部の各地区図書館及び釧路市音別町ふれあい図書館

(※2) 釧路市阿寒町公民館図書室

● 保育所の概要・・・2024年(令和6年)4月1日現在

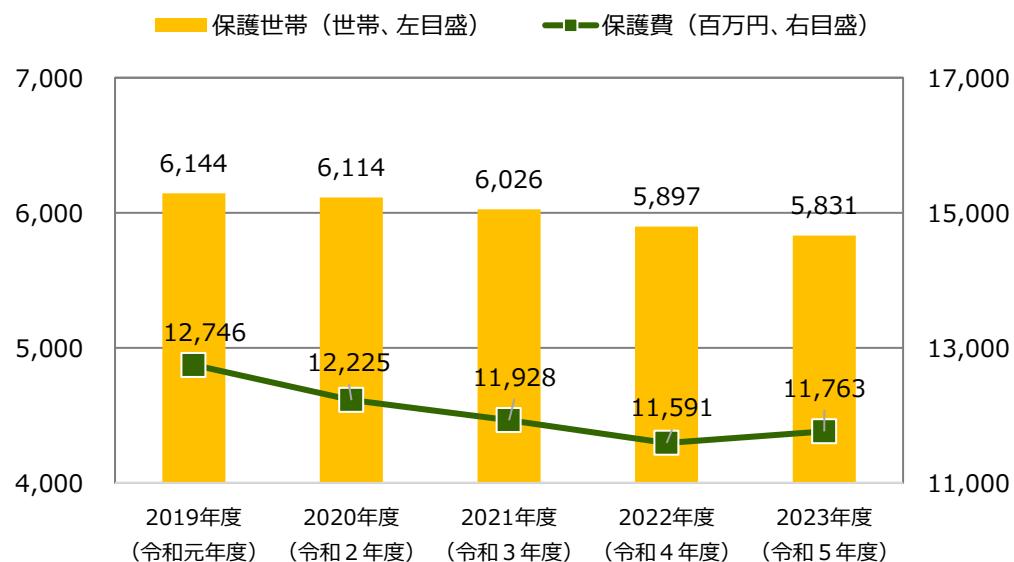
<資料：市子ども育成課、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>

(単位:箇所,人)

	施設数	職員数	定員	入所児童数						
				総数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
総数	9	188	580	527	36	73	95	106	98	119
うち公立	4	73	315	250	13	34	48	53	45	57
うち法人立	5	115	265	277	23	39	47	53	53	62

● 生活保護受給状況

<資料：市社会援護課、阿寒・音別町行政センター保健福祉課>



歴史とあゆみ

釧路濃縮100%！釧路市立博物館

● 釧路市の歴史（寛政～昭和）

寛政（1789-1801）

- 11年 <旧釧路市> 幕府の直接経営となり釧路川口にクスリ会所・旅宿所・酒造所が設けられる。
<旧音別町> 幕府は、尺別に通行屋(旅宿所)を設ける。

文化（1804-1817）

- 元年 <旧阿寒町> 阿寒アイヌの居住について文献に出る。

安政（1854-1860）

- 2年 <旧釧路市> 前の年箱館(函館)が開港場となり、この年から幕府は再びこの地を直接経営する。本州から漁場へ働きにくる人はますます多くなり、アイヌ人口は減り始める。

明治（1868-1912）

- 2年 <旧釧路市> 蝦夷地は北海道、クスリは釧路と改称され、釧路国釧路郡の名が定まる。
<旧阿寒町> 釧路国阿寒郡の名称確定、阿寒郡は兵部省の直轄下に入る。
<旧音別町> 音別は釧路国白糠郡に属す。
- 17年 <旧釧路市> 鳥取県旧土族が移住し、鳥取村が設けられる。
- 20年 <旧釧路市> 当時の春鳥の石炭を掘り始める。
- 22年 <旧阿寒町> 内地からの移住始まる。
- 30年 <旧阿寒町> 阿寒湖で「マリモ」発見。
- 31年 <旧音別町> 直別原野から入植者の入地がはじまる。
- 33年 <旧釧路市> 北海道一級町村制が施行され釧路町(人口10,309人)が誕生する。道内初の製紙工場(前田製紙)ができる。初代幣舞橋が国費でかけられる。
- 34年 <旧釧路市> 釧路-白糠間に鉄道が開通する。(明治40年には旭川経由で函館まで開通)
- 36年 <旧音別町> 官設鉄道釧路線が音別まで開通。音別駅ができ、営業を開始する。
- 39年 <旧阿寒町> 前田正名阿寒湖畔に入り開発に着手。
- 42年 <旧釧路市> 釧路に近代港湾を建設する予算が帝国議会を通過し、港湾修築工事が始まる。(釧路は北海道東部の鉄道・汽船輸送の結節点となる)

大正（1912-1926）

- 4年 <旧釧路市> マグロの水揚げが盛んで、東京へ出荷される。
- 7年 <旧音別町> 尺別炭砦が開坑。
- 8年 <旧音別町> 二級町村制が敷かれ、尺別村役場となる。
- 9年 <旧釧路市> 北海道区制が施行され、釧路区(人口39,392人)が誕生する。この時釧路村を分村する。太平洋炭礦が開業し、富士製紙は鳥取の新工場操業を始める。

- 9年 <旧釧路市> 東北・北海道に長雨があり、釧路川・阿寒川が氾濫して大洪水となる。(釧路川に合流していた阿寒川は分離して独立した河川となる)
<旧阿寒町> 北海炭砦株式会社(雄別炭砦株式会社)創業。
- 10年 <旧阿寒町> マリモが天然記念物に指定。
- 11年 <旧釧路市> 市制が施行され、釧路市が誕生する。(人口42,673人)
<旧音別町> 尺別村が音別村に改称。
- 12年 <旧阿寒町> 2級町村制施行。
- 14年 <旧釧路市> 四代目幣舞橋を永久橋とする工事が始まる。(完成は昭和3年)

昭和（1926-1989）

- 9年 <旧阿寒町> 阿寒国立公園指定。
- 18年 <旧釧路市> 鳥取村に町制が施行され、鳥取町が誕生する。
<旧音別町> 1・2級町村制が廃止され、北海道指定村となる。
- 19年 <旧音別町> 音別炭砦・尺別炭砦が休坑。
- 21年 <旧阿寒町> 雄別炭砦三菱から分離。
<旧音別町> 尺別炭砦が復活。
- 24年 <旧釧路市> 釧路市と鳥取町及び白糠町の一部が合併。(人口85,180人)
北海道学芸大学釧路分校(現北海道教育大釧路校)開学。
- 27年 <共通> タンチョウが国の特別天然記念物となる。
<旧阿寒町> 阿寒湖のマリモが国の特別天然記念物となる。
- 32年 <旧阿寒町> 町制施行。阿寒町となる。
- 34年 <旧釧路市> 本州製紙釧路工場が操業開始。
<旧音別町> 町制施行。音別町となる。
- 35年 <旧釧路市> 釧路空港が完成、釧路-帯広-札幌線開設。
- 39年 <旧釧路市> 釧路女子短期大学(現釧路短期大学)開学。
- 40年 <旧釧路市> 国立釧路高等工業専門学校開学。
- 44年 <旧釧路市> 魚の水揚量、全国一を記録する。
- 45年 <旧阿寒町> 雄別炭砦閉山。
<旧音別町> 尺別炭砦閉山。
- 50年 <旧釧路市> 国勢調査で市の人口が20万人を超える。
- 51年 <旧釧路市> 五代目幣舞橋が完成し、翌年「道東の四季像」除幕。
- 52年 <旧阿寒町> タンチョウ観察センターオープン。
- 53年 <旧阿寒町> マリモ展示観察センターオープン。
- 59年 <旧釧路市> たんちょう国体(冬期スケート競技会)開催。
- 62年 <旧釧路市> 釧路湿原が28番目の国立公園となる。
- 63年 <共通> 釧路公立大学開学。



釧路が発祥の地「炉端焼き」

● 釧路市の歴史（平成～）

平成（1989-2019）	
元年	<旧釧路市> 釧路フィッシャーメンズワーフがオープン。
2年	<旧釧路市> スイスの第4回ラムサール条約締約国会議で、第5回会議(平成5年)を釧路市開催と決定。
4年	<旧音別町> 音別町ふれあい図書館新築落成。
5年	<共通> 釧路沖地震。 <旧釧路市> 第5回ラムサール条約締約国会議開催。
6年	<共通> 北海道東方沖地震。 <旧釧路市> 国際会議観光都市認定。
7年	<旧釧路市> 地方拠点都市地域指定。 シマフクロウの人工増殖に世界で初めて成功。
8年	<旧阿寒町> マリモ展示観察センター(トーラサンペ)リニューアル。国際ツルセンター(グルス)新築落成。
9年	<旧釧路市> 第52回くしろ湿原国体(冬季スケート大会)開催。 振子式特急「スーパーおおぞら」が釧路・札幌間で運行を開始。
13年	<旧釧路市> 釧路川名称復活。(「旧釧路川」から「釧路川」へ)
14年	<旧釧路市> 釧路港西港第4埠頭一部供用開始。(道東初の14m岸壁) 釧路工業技術センター開設。 <共通> 十勝沖地震発生。
16年	<旧釧路市> 市民活動センター「わっと」オープン。
17年	<共通> 北海道横断自動車道(本別～釧路間)の工事着工。 ☆釧路市、阿寒町、音別町が合併し、新生「釧路市」が誕生する。 釧路市こども遊学館オープン。
18年	第1回日中韓観光大臣会合が阿寒湖温泉で開催される。
19年	西消防署音別支署・音別町コミュニティセンターがオープン。

20年	千代ノ浦マリパークがオープン。 総合体育館 湿原の風アリーナ釧路がオープン。
21年	阿寒湖まりむ館がオープン。 ドクターヘリの運航が開始。 第65回国民体育大会冬季大会(スケート競技会・アイスホッケー競技会)開催。
22年	小型惑星探査機はやぶさのカプセルが展示される。 釧路市事業仕分けを実施。
23年	釧路港が国際バルク戦略港湾に選定される。 釧路市動物園で飼育されていた2羽のタンチョウが、台北市動物園に無償貸与される。 東北地方太平洋沖地震発生。
24年	阿寒湖アイヌシアター「イコロ」がオープン。 台湾の復興航空による国際定期便が就航。
25年	エア・ドゥ釧路－羽田線を開設。 市民の寄付により釧路市動物園に4年ぶりにキリンを展示。
26年	釧路市連合町内会と釧路市との連携基本協定を締結。 武修館高校、釧路勢35年ぶりの甲子園出場。 音別町行政センター新庁舎落成。
27年	釧路市役所防災庁舎落成。
28年	道東自動車道 白糖IC～阿寒IC間開通。
29年	「阿寒国立公園」から「阿寒摩周国立公園」に名称が変更される。
30年	Peach釧路－大阪(関西)線を開設。 国際バルク戦略港湾の施設整備が完了。
31年	国際バルク戦略港湾釧路港国際物流ターミナルの運用が開始される。

令和（2019- ）

元年	台北市立動物園に天然マリモを貸与
2年	Peach釧路－東京(成田)線を開設。
4年	ルート38音別館おんぼーとがオープン。
6年	道東自動車道 阿寒IC～釧路西IC間開通。



【市章】

2005年(平成17年)釧路市、阿寒町、音別町協議

外側の星は北極星を、内側の円はクシロを意味する腕輪を表し、北海道を象徴する北極星に囲まれ、釧路市が栄えることを祈って作られました。



交通アクセス

※時間はおよその所要時間

●道東自動車道

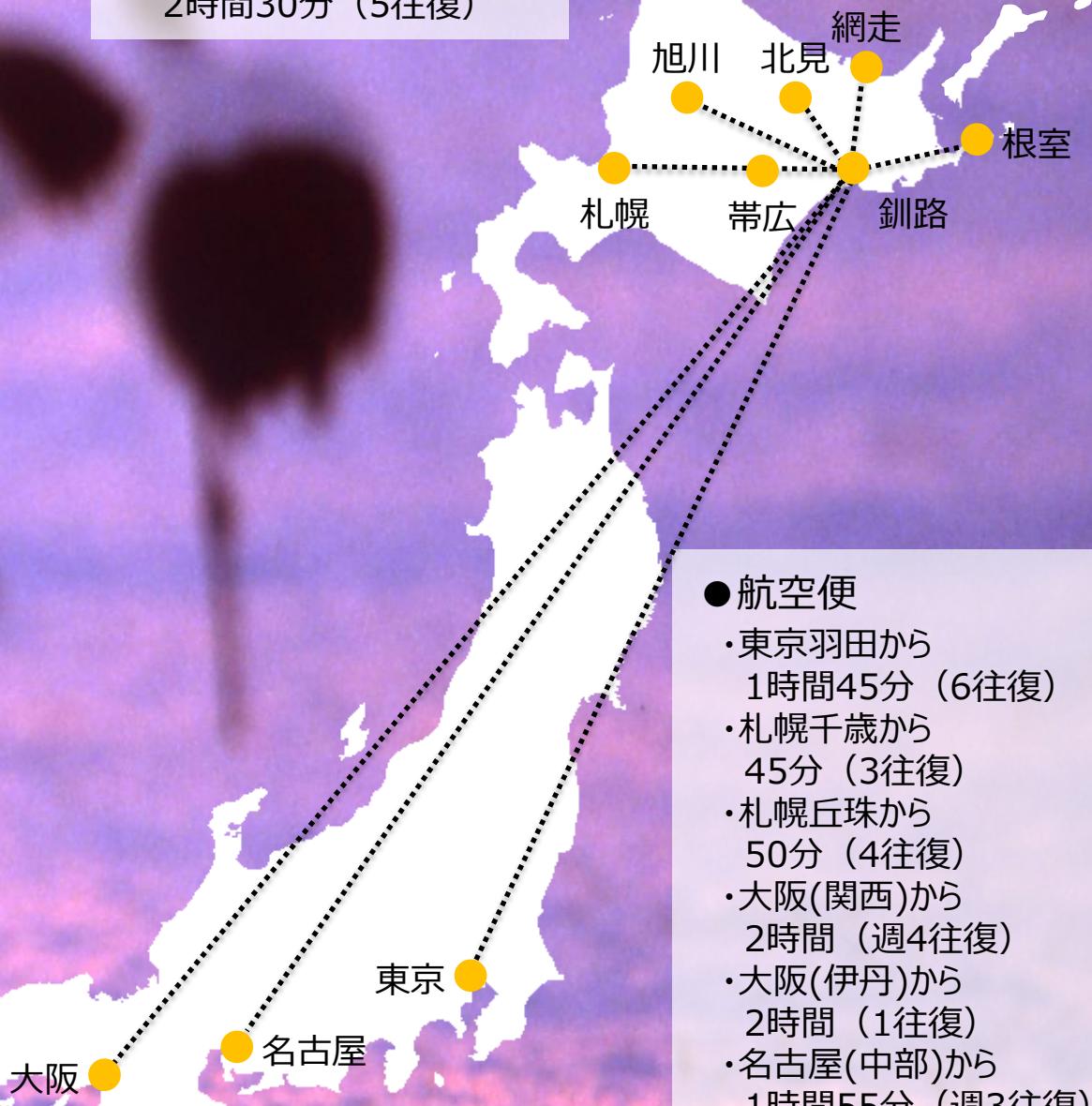
- ・札幌から
4時間

●鉄道（JR）

- ・札幌から
4時間（6往復）
- ・網走から
3時間30分（4往復）
- ・根室から
2時間30分（5往復）

●都市間バス

- ・札幌から
5時間（8往復）
- ・旭川から
7時間00分（2往復）
- ・北見から
3時間（2往復）
- ・根室から
3時間（平日2往復
（土日1往復）



●航空便

- ・東京羽田から
1時間45分（6往復）
- ・札幌千歳から
45分（3往復）
- ・札幌丘珠から
50分（4往復）
- ・大阪(関西)から
2時間（週4往復）
- ・大阪(伊丹)から
2時間（1往復）
- ・名古屋(中部)から
1時間55分（週3往復）

※大阪(関西)便は7～9月運航予定
※大阪(伊丹)便は8月運航予定
※名古屋(中部)便は8月運航予定

発行/釧路市総合政策部企画課
発行日/2025年(令和7年)6月

